

平成 30 年度 食育推進に係る実践報告書

学校名	府中町立府中中央小学校
-----	-------------

1 学校における食育の現状（昨年度からの課題等）

【教科等における食に関する指導について】

教科の中で食育の授業を行う場合、食育のねらいと共に各教科のねらいを達成できるような指導の工夫が必要である。また、栄養教諭の専門性を活かせる関わり方についても研修していく必要がある。本校では、担任と連携を図りながら新たな教材の開発に取り組んでいる。

【バランスよく食べるための指導の工夫について】

栄養バランスのとれた食事については、家庭との連携を欠かすことができない。食事内容は、家庭による差が大きいので、少しでも食事の重要性に意識を傾けることができるよう学校から情報を発信し、学校では、給食時間を中心に苦手なものにもチャレンジできるよう働きかけていきたい。

2 学校の食育に係る目標（成果指標・目標値）

「チャレンジする児童の育成」（食育の指導の充実を図る）

基本的な生活習慣を定着させ、栄養バランスのとれた食事について考えることのできる児童を育成する。その指標として、生活リズムに気を付け、バランスよく食べようとしている児童の割合を70%以上とする。

3 食育の目標に対する具体的な取組

【取組1】（テーマ） 教科等における食に関する指導の充実に向けた取組について

食に関する指導年間計画に基づき、学級担任と栄養教諭のTTによる指導を実施



国語科「海のいのち」で、人物像を表す優れた叙述に着目し、与吉いさの人物像や思いについて自分の考えをまとめた。そのための手立として、実際の漁師さん取材し、魚や漁に対する思いを紹介し、考えを深めていった。



比治山大学の学生に年に数回授業を公開し、その後で、食育の授業づくりについてのポイントを学級担任が説明した。そのことで、担任も食育の授業の進め方について改めて理解を深めることにつながった。



保健体育科では、よりよい成長のための食事の摂り方についての授業を行った。「食事」「睡眠・休養」「運動」のバランスが大切であることを知らせ、中でも食事として、「カルシウム」「ビタミン」「タンパク質」が必要であることを知らせた。また、生活リズムについても触れながら、自分の生活を振り返らせていった。

【取組2】(テーマ)

バランスよく食べるための指導の工夫について



年に3回実施している「生活リズム振り回りカード」から自分の朝ごはんを振り回り栄養バランスについて考えた。



食育参観日で、3年生は「バランスのとれた食事」について学習をした。

どうすれば朝ごはんが「はなまる朝ごはん」になるのかをグループで考え、参観した保護者からも意見を発表してもらった。懇談会でも、各クラスでバランスのとれた食事について意見交流を行った。



食育体験活動「5DAY」で、バランスのとれた食事について学習し、学校で学んだことを確認した。(スパーク浜田店で)



給食委員会が作った、「赤・緑・黄色のグループの歌」を給食時間に流した。

【取組3】(テーマ)

学校・家庭・地域との連携について

○ 食育参観日について

食に関する年間指導計画に沿って、各学年の目標に応じた内容の食育授業を参観日に全学級で行った。授業参観後は、各学級で、学校での食に関する取組や食事内容についての交流を行った。

○ 学校行事と地域との連携について

「朝パッ君プラン推進事業」や「府中町公衆衛生推進協議会」と連携を図りながら、地域に伝わる郷土料理「もぶり飯」についての学習や「おむすび体験学習」などの取組を行った。



JAの方や、地域の方と一緒に、おむすび体験活動をした。



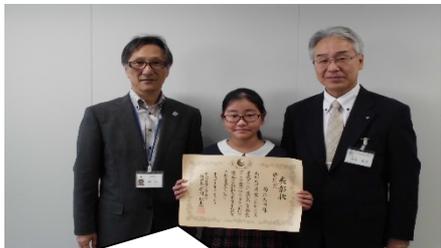
府中町公衆衛生推進協議会との連携で、地域に伝わる郷土料理「もぶり飯」の歴史や作り方について学習した。



地域の方々から教えていただいた内容をもとに、農林水産省主催の「全国和食王選手権」に参加し、それぞれのグループで地域の郷土料理についてまとめた。その結果、中四国ブロック第2位に入賞することができ、児童が、郷土料理について、より理解を深め、愛着を抱くことにつながった。

4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

- 本校児童が、特別賞に入賞したため、学校通信、食育通信などで保護者に知らせ、校内の掲示板でも紹介した。
- 府中町広報でも「ひろしま給食100万食プロジェクト」について掲載していただいた。
(資料1)
- 府中町教育委員会のみなさんを招いて給食試食会を実施した。



企業賞を受賞した5年生の菊池梨咲さんが頂いた賞状を教育長に見ていただいた。



教育長、校長は「フレーフレー！サンフレぶどうゼリー」にちなみ、サンフレッチェの紫色のユニフォームで試食会に臨んだ。



- 府中町内では、「府中朝パッ君スープ☆チャイニーズ」と合わせ、町内統一メニューを実施。



ひろしまオールスター☆坦々丼
牛乳
広島野菜のナムル
府中朝パッ君スープ☆チャイニーズ
フレーフレー！サンフレぶどうゼリー

- ひろしま給食朝ごはんメニューに本校児童のレシピが選ばれたため、保護者対象の給食試食会では、朝ごはんレシピの中から数品選びデモンストレーションを行い、企業賞に選ばれた「ひろしま元気チャウダー」の試食を行った。
- ひろしま給食メニューを教材として教科等の授業に生かした。

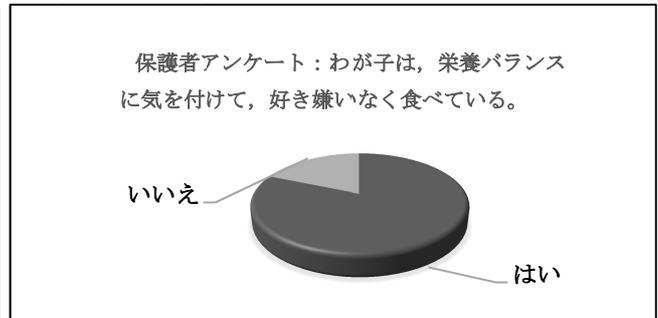
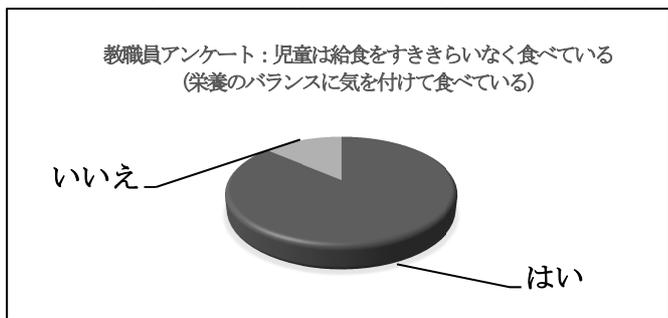


広島県の地形や気候は、レモンの栽培に適している。また、それだけではなく、生産者の工夫も欠かせない。どんな工夫があるのかを、広島駅と修学旅行で訪れる観光地のお土産売り場を比較して児童に考えさせた。

5 取組に対する成果と課題

【成果】

- 教科等における食に関する指導について
 - ・ 授業を公開する機会など研修の場面が多くあり、教科に食育を取り入れるために教材研究の時間を多く取ることができた。そのことから、教職員の食育に対する意識が高まった。また、教科の中での食育の広がりにも可能性を感じることもできた。
- 生活リズムに気を付け、バランスよく食べるための指導の工夫について
 - ・ 食育参観日など、学校での取り組みの中で保護者と一緒に食事内容を考えることで、家庭との連携が図りやすく、保護者、児童にバランスよく食べようという意欲が高まった。
 - ・ 給食委員会が作った歌を毎日の給食時間に流すことで、毎日食べている食品がどのグループになるのか頭に入りやすかった。そのことで、バランスのとれた食事について効果的に伝えることができた。
 - ・ 地域の行事と学校での取組内容を一緒に行うことで、地域にも学校の取組内容を知ってもらい、連携を深めることにもつながった。
 - * 地域の行事「とんど」で PTA が主体となり「府中朝パッ君汁」を保護者・地域の方々に提供し、作り方や簡単な朝ごはんメニューなどを広めていった。



○「給食は、好き嫌いなく（栄養のバランスに気を付けて）食べようとしている。」児童の肯定率は、約92%と概ね良好な状況であった。

○「わが子に、栄養バランスに気を付けた食事をとらせている。」保護者の肯定率は約81%、「子供達は、給食を好き嫌いなく食べている。」教職員の肯定率は約86%で、概ね良好であった。2学期の、保護者の肯定率は、1学期の78%から81%に上がっていた。今後も、各種たより等による保護者への発信と、家庭と連携した取組が必要である。

学校評価アンケート(平成30年度2学期末)より

【課題】

- 教科等における食に関する指導について
 - ・各学年で行った教科等における食に関する指導の内容を校内研修等により、教職員全体で理解を深め、全体の意識を更に高めていく必要がある。
- 生活リズムに気を付け、食事をバランスよく摂るための指導の工夫について
 - ・栄養バランスのとれた食事については、家庭との連携が欠かせない。児童の意識の変容は見られるものの、食事内容は、家庭による差が大きい。バランスのとれた食事メニューの提案を含め、少しでも食事の重要性に意識を傾けることができるよう継続して学校から情報を発信していきたい。学校では、給食時間を中心に苦手なものにもチャレンジできるよう働きかけていきたい。

6 今後の取組に向けた改善方策について

- 教科等における食に関する指導について
 - ・各学年で行った教科等における食に関する指導の内容について校内研修等により教職員全体で理解を深める。
 - ・食に関する指導年間計画を見直し、学校行事と指導内容を関連付け、効果的な指導ができるようにしていきたい。
- 生活リズムに気を付け、食事をバランスよく食べるための指導の工夫について
 - ・児童が自分の健康を考えた生活を行えるよう、学校での食育の授業や料理教室、また保護者への食生活についての話を継続して行い、またその内容を家庭にも発信していきたい。